

～直播の生育状況と今後の管理～

直播の生育状況(5月29日現在)

カルパー直播

平年に比べ苗立率は高く、苗立本数は多くなっています。ほ場毎で苗立ちのバラツキはあるものの苗立目標 60 本／㎡を確保しており、分けつの発生は旺盛となっています。

表 直播コシヒカリ(カルパー点播)の生育状況(1ヶ所)

年度	播種日 (月日)	苗立本数 (本／㎡)	苗立率 (%)	播種深度 (mm)	草丈 (cm)	茎数 (本／㎡)	葉齢 (葉)
R7	4/21	103.3	88.8	7.3	19.5	147	4.2
R6	4/24	61.7	60.6	5.5	21.0	128	5.0
平年	4/27	68.1	67.2	7.0	17.9	100	3.6

今後の栽培管理について

直播栽培では、急激に茎数が増加することから溝掘りを早めに行い、適期に中干しを開始しましょう。また、中干し後も雑草がみられる場合は、雑草の種類や発生状況に応じて適切に除草剤を散布しましょう。

特に、“藻の発生ほ場”では『水の入れ替え』を行いましょう。

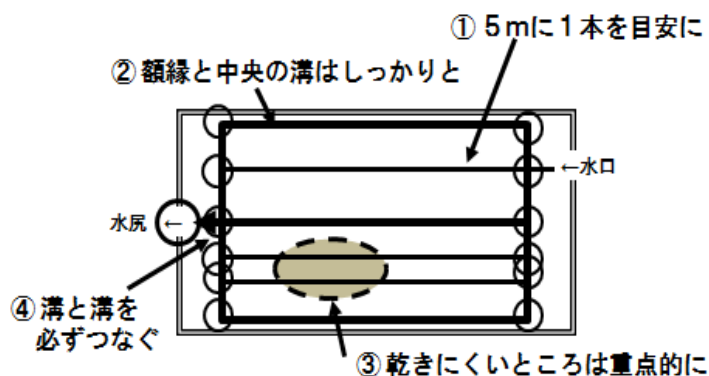
“ブクブクとわいているほ場”や“葉色の淡いほ場”では、『軽い田干し』を行いましょう。



直播は播種深度が浅いことから、根張りが弱く、藻が稲に絡みついて倒れやすい。
⇒こまめな水管理で藻の発生を防止しましょう。

1. 溝掘りは、中干し前に確実に実施

- ・溝掘りは、迅速な入排水を行うとともに、ほ場の地耐力を確保するため、中干し前（6月上旬）に必ず実施しましょう（5mに1本）。
- ・溝は水尻まで連結しましょう。



2. 中干しの実施

- ・1m間の茎数が100本程度になったら、中干しを開始しましょう。
- ・中干しは、土の表面にひび割れが入り長靴の跡がつく程度まで行い、極端に強く干さないようにしましょう（強く干しすぎると極端に葉色が低下し、穂数が不足する恐れがあります）。
- ・中干し後は幼穂形成期まで間断かん水を継続しましょう。

【中干し】



3. 「ケイ酸」と「カリ」を施用しましょう

- ・直播は播種深が浅く、倒伏しやすいので「エスアイ加里らくだ」を施用しましょう。

【施用時期の目安：6月20～25日頃、施用量：15kg/10a】



4. 除草剤の散布

- ・ほ場に発生している雑草の種類や葉齢を確認し、適期に除草剤を散布しましょう。

(1) ノビエ中心の場合

除草剤名	散布量(10a当たり)	使用時期	使用回数	注意事項
トドメMF 1キロ粒剤	1kg	稲3.5葉～ノビエ4葉期 収穫50日前まで	3回 以内	・湛水して散布
トドメMF 乳剤	200ml (希釈水量25～100ℓ)	播種後10日～ノビエ6葉期 収穫50日前まで	2回 以内	・雑草茎葉散布又は全面散布

(2) 広葉雑草のみの場合

除草剤名	散布量(10a当たり)	使用時期	使用回数	注意事項
バيسコープ 1キロ粒剤	1kg	稲3葉期～出芽後60日 収穫45日前まで	1回	・湛水散布またはごく浅い湛水散布
バサグラン 粒剤	3kg	稲3葉期～入水50日後 収穫45日前まで	1回	・落水又はごく浅く湛水して散布
バサグラン 液剤	500～700ml (希釈水量70～100ℓ)	播種後35～50日 収穫45日前まで	2回 以内	・2日以上晴天が続く日を選んで散布

(3) ノビエと広葉雑草の場合

除草剤名	散布量(10a当たり)	使用時期	使用回数	注意事項
レプラス ジャンボ	10パック (400g)	稲1葉期～ノビエ4葉期 収穫60日前まで	1回	・湛水して散布
ロイヤント乳剤 (クサネム対策)	200ml (希釈水量100ℓ)	稲3葉期～ノビエ5葉期 収穫45日前まで	2回 以内	・落水状態で散布 ・土壌水分が少ないと効果が十分発揮されないことがあるため、散布後3日以内に入水する。
トドメバスマF 液剤	1000ml (希釈水量70～100ℓ)	播種後10日～ノビエ6葉期 収穫50日前まで	2回 以内	・落水状態で散布

※ 除草剤は使用時期、使用方法を守って散布してください。

※ ロイヤント乳剤は周囲の大豆ほ場に飛散しないよう特に注意してください。

5. 病害虫防除

- ・JA みな穂でカルパーコーティングした種籾には、殺菌剤のルーチンシード FS と殺虫剤のヨーバルシード FS が処理されているので、薬剤散布の必要はありません。
- ・種子塗抹や播種同時施薬でいもち対策を行っていない場合、中干し終了後、オリゼメート粒剤を散布し、葉いもちを予防しましょう。
- ・また、ニカメイチュウによる鞘枯れが見られたら防除しましょう。

対象病害虫	薬剤名	散布量(10a 当たり)	散布時期	注意点等
葉いもち (防除)	オリゼメート 粒剤	3～4kg	6月中旬 頃まで	・散布時は5cm程度の湛水とし、5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水しない。 ・中干しが不十分な場合は、散布湛水期間の後、再度田干しを行ってください。
ニカメイチュウ	パダン 粉剤 DL	4kg	6月 中～下旬	・鞘枯れが見られたら、速やかに散布する。 ・落水して株元にかかるように散布して下さい。

★JA みな穂では営農情報を配信しています。
・営農メール：水稻栽培情報、気象・災害情報
・LINE：稲作管理特報などの各種特報
※右のQRコードを読み込み、案内に沿って
手続きして下さい。

営農
メール



LINE

